

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年5月10日

【四半期会計期間】 第64期第3四半期(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

【会社名】 株式会社カワニシホールディングス

【英訳名】 KAWANISHI HOLDINGS, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高井 平

【本店の所在の場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 河田 肇

【最寄りの連絡場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 河田 肇

【縦覧に供する場所】 株式会社カワニシホールディングス東京事務所
(東京都千代田区大手町二丁目6番1号
朝日生命大手町ビル16階)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第63期 第3四半期 連結累計期間		第64期 第3四半期 連結累計期間		第63期	
		自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日	自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日	自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日	自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日		
売上高	(千円)	55,184,004	73,316,049	74,744,816			
経常利益	(千円)	745,666	1,518,891	749,817			
四半期(当期)純利益	(千円)	334,795	925,702	346,030			
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	297,090	969,687	300,920			
純資産額	(千円)	2,280,817	3,198,204	2,284,625			
総資産額	(千円)	30,836,475	37,325,857	28,298,536			
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	59.67	164.98	61.67			
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)						
自己資本比率	(%)	7.4	8.6	8.1			

回次		第63期 第3四半期 連結会計期間		第64期 第3四半期 連結会計期間	
		自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	40.55	81.21		

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、平成24年7月1日をもって、サンセイ医機株式会社（連結子会社）とサンセイ・メディック株式会社（連結子会社）は、サンセイ医機株式会社を存続会社とする吸収合併方式により合併しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

医療器材事業

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。平成24年1月に連結対象となったサンセイ医機株式会社(福島県郡山市)の業績加算が主な要因ですが、そのほかにも、商権獲得が進んだ島根・山口・愛媛・徳島・高知の売上高は、前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比144.1%となりました。

整形外科関連商品は、平成24年4月以降の償還価格改定に伴う販売単価の下落が業績を5%前後も下押しするなか、平成23年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響から回復したことに加え、兵庫・広島・愛媛・徳島でのシェアアップが進みました。これに、サンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、売上高は前年同期比115.1%となりました。

循環器関連商品は、償還価格改定に伴う販売単価の下落が業績を10%強も下押しするなか、アブレーションカテーテル(カテーテル先端の高周波メスで頻脈性不整脈の回路を焼く治療)・ペースメーカ・植込み型除細動器といった不整脈治療用デバイスや、血管造影検査用の放射線装置の獲得が進みました。岡山・山口・香川・徳島で前年同期比10%超の増収となるなど健闘し、さらにサンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、売上高は前年同期比110.0%となりました。

設備・備品の販売は、大手基幹病院における新增築や建て替えにともなう設備・機器の追加受注による特需売上が岡山・広島・福島等で大きく伸ばしたことにより、当初予想を15億円あまりも上回る増収となっています。

その結果、医療器材事業は、売上高647億5百万円(前年同期比39.4%増)、営業利益15億78百万円(前年同期比102.4%増)となりました。

ライフサイエンス事業

基礎研究領域は、科学研究費の予算執行の動き出しが鈍く、また研究費の越年化が認められるようになったことから買い込み需要も減少しています。研究に関連した分析・解析等の受託に伸びがみられるものの、前年同期の復興予算による放射線関連機器の販売の反動もあり、売上高は前年同期比84.7%にとどまりました。

診断薬領域におきましても、免疫系試薬の販売が伸びているものの前年同期の大型案件販売の反動があり、売上高は前年同期比93.5%にとどまりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高33億20百万円（前年同期比 9.5%減）、営業損失30百万円（前年同期 営業損失 9 百万円）となりました。

高塚ライフサイエンス株式会社では成長力を強化するために、当第3 四半期より、岡山県内の新顧客の開拓・商権拡大に取り組んでおり、組織・人事の見直しに着手し、営業人材の強化プログラムを進めています。

S P D 事業

病院での使用材料は微増したものの、低利益率の商材が多く、売上高・売上総利益ともにわずかな伸びに留まりました。また新規受託先が2 施設増えましたが、顧客増に伴い人件費も増加しました。

その結果、S P D 事業は、売上高70億61百万円（前年同期比 1.8%増）、営業利益51百万円（前年同期比 1.3%減）となりました。

介護用品事業

平成23年6 月期より営業エリアの拡大策をとり、相次いで営業拠点を新設しており、平成24年11月にも新たに神戸支店を開設しました。平成23年4 月に新店した広島支店は前年同期比で177.3%の増収、同年12月に新店した加古川支店は前年同期比で11倍以上の増収となっています。隣接する拠点からの迅速な対応に加え、ケアマネージャーの採用によりサービス力の強化も図っています。

新規出店費用及び営業社員の拡充等の投資がまだ先行しているため、介護用品事業は、売上高7 億36百万円（前年同期比 22.9%増）、営業利益27百万円（前年同期比 21.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3 四半期連結会計期間の総資産は373億25百万円となり、前連結会計年度と比べ90億27百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が28億77百万円、受取手形及び売掛金が53億94百万円、商品が9 億11百万円増加した一方で、有形固定資産が54百万円、無形固定資産が55百万円減少したことによるものであります。

また、負債は341億27百万円となり、前連結会計年度と比べ、81億13百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が62億45百万円、短期借入金が23億66百万円増加した一方で、長期借入金が7 億61百万円減少したことによるものであります。

純資産は31億98百万円となり、前連結会計年度と比べ、9 億13百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により9 億25百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.5ポイント増加し、8.6%となりました。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年5月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,250,000	6,250,000	東京証券取引所 (市場第二部)	株主としての権利内容に制 限のない標準となる株式 1単元の株式数100株
計	6,250,000	6,250,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日		6,250,000		607,750		343,750

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 639,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,609,400	56,094	
単元未満株式	普通株式 1,500		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,250,000		
総株主の議決権		56,094	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式数には、証券保管振替機構名義の失念株式1,000株(議決権10個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が次のとおり含まれております。

自己保有株式 55株

3 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カワニシ ホールディングス	岡山県岡山市北区今 1-4-31	639,100		639,100	10.23
計		639,100		639,100	10.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成25年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あけぼの監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,752,055	8,629,832
受取手形及び売掛金	2 14,090,323	2 19,484,583
商品	3,180,076	4,091,149
その他	1 767,382	1 656,278
流動資産合計	23,789,837	32,861,843
固定資産		
有形固定資産	2,878,036	2,823,666
無形固定資産		
のれん	475,087	388,868
その他	153,119	183,957
無形固定資産合計	628,207	572,825
投資その他の資産	1 1,002,454	1 1,067,520
固定資産合計	4,508,698	4,464,013
資産合計	28,298,536	37,325,857
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 18,506,614	2 24,752,525
短期借入金	3,367,640	5,733,897
未払法人税等	348,440	551,774
賞与引当金	13,740	27,902
その他	1,017,589	1,038,517
流動負債合計	23,254,025	32,104,616
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	1,637,291	875,744
退職給付引当金	322,364	326,743
役員退職慰労引当金	638,800	670,373
その他	111,430	110,175
固定負債合計	2,759,885	2,023,036
負債合計	26,013,910	34,127,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	2,158,424	3,028,018
自己株式	834,122	834,122
株主資本合計	2,275,801	3,145,396
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	8,823	52,807
その他の包括利益累計額合計	8,823	52,807
純資産合計	2,284,625	3,198,204
負債純資産合計	28,298,536	37,325,857

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	55,184,004	73,316,049
売上原価	49,292,521	65,560,760
売上総利益	5,891,483	7,755,289
販売費及び一般管理費	5,125,159	6,224,974
営業利益	766,323	1,530,314
営業外収益		
受取利息	1,966	1,215
受取配当金	1,124	1,130
受取保険金	1,102	8,935
持分法による投資利益	628	474
その他	14,376	28,676
営業外収益合計	19,197	40,431
営業外費用		
支払利息	38,262	46,694
その他	1,592	5,160
営業外費用合計	39,854	51,854
経常利益	745,666	1,518,891
特別利益		
有形固定資産売却益	964	850
受取補償金	11,047	136,794
特別利益合計	12,011	137,645
特別損失		
有形固定資産除却損	7,679	2,820
減損損失	-	33,629
投資有価証券評価損	4,326	-
商品評価損	46,428	-
役員退職慰労金	-	5,000
特別損失合計	58,433	41,450
税金等調整前四半期純利益	699,244	1,615,087
法人税、住民税及び事業税	310,516	687,182
法人税等調整額	53,931	2,202
法人税等合計	364,448	689,384
少数株主損益調整前四半期純利益	334,795	925,702
四半期純利益	334,795	925,702

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	334,795	925,702
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	37,705	43,984
その他の包括利益合計	37,705	43,984
四半期包括利益	297,090	969,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,090	969,687
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるサンセイ医機株式会社とサンセイ・メディック株式会社が、サンセイ医機株式会社を存続会社として合併しております。

このことにより、連結の範囲に変更はありませんが、連結子会社の数は1社減少しております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日至平成25年3月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
流動資産	22,487千円	33,111千円
投資その他の資産	44,208千円	6,680千円

2 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当第3四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
受取手形	89,638千円	79,054千円
支払手形	365,189千円	513,523千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 受取補償金

前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

東日本大震災における原子力発電所の事故に伴う逸失利益等に対する東京電力株式会社からの補償金であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日至平成25年3月31日)
減価償却費	179,407千円	182,369千円
のれんの償却額	51,915千円	86,218千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	56,108	10.00	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月26日 定時株主総会	普通株式	56,108	10.00	平成24年6月30日	平成24年9月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,095,076	3,647,455	6,842,575	598,895	55,184,004		55,184,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,306,967	21,173	96,742	292	2,425,174	2,425,174	
計	46,402,043	3,668,629	6,939,318	599,188	57,609,178	2,425,174	55,184,004
セグメント利益 又は損失()	779,777	9,830	51,966	35,640	857,554	91,231	766,323

(注)1 セグメント利益の調整額 91,231千円には、セグメント間取引消去8,999千円、各報告セグメントに配分しない
 全社費用 100,230千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門
 費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく
 変動しております。これは平成24年1月4日付けでサンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会
 社を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「医療器材事業」に計上したことによるも
 のであります。前連結会計年度に比べて増加したセグメントの資産の金額は「医療器材事業」が7,756,282千
 円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社の株式取得時における取得原価が取
 得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識し
 ております。

なお、当該事象にによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、347,178千円であ
 ります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	62,324,729	3,287,505	6,968,440	735,374	73,316,049		73,316,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,381,242	33,408	93,038	1,243	2,508,932	2,508,932	
計	64,705,972	3,320,913	7,061,478	736,617	75,824,982	2,508,932	73,316,049
セグメント利益 又は損失()	1,578,652	30,989	51,285	27,863	1,626,811	96,496	1,530,314

(注)1 セグメント利益の調整額 96,496千円には、セグメント間取引消去550千円、各報告セグメントに配分しない全社費用 97,047千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社での新社屋建設に伴い旧社屋に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において33,629千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	59円67銭	164円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	334,795	925,702
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	334,795	925,702
普通株式の期中平均株式数(株)	5,610,874	5,610,845

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 5月10日

株式会社カワニシホールディングス
取締役会 御中

あけぼの監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三 瓶 勝 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 東 本 浩 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワニシホールディングスの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成25年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワニシホールディングス及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。